

建材マンズリー

The KENZAI Monthly

12

座談会
次代へつなごう
この国の「木文化」

Coffee Break
震災後のユーザー動向
—注文住宅に関するトレンド調査2011—
FRONT RUNNER
株式会社ナベル
技術を守るため、
特許を武器に戦う
+Biz Topics
業界ニュース
建材マンズリー資料室

座談会 次代へ つなごう この国の 木文化

シリーズ特集「Living with Wood」
最終回の今回は、住友林業との
コラボレーション作品を発表した
新進気鋭の二人の建築家を
ゲストに迎え、座談会を開催。
「建築物の木造・木質化」の機運が
高まりつつある中、
それぞれが抱く木に対する価値観や
期待などを大いに語り合ってもらった。

成瀬友梨氏
なるせ・ゆり／東京大学
院工学系研究科建築学専攻
博士課程単位取得退学後、成
瀬友梨建築設計事務所を創
設。成瀬・猪熊建築設計事務所
を共同主宰。東京理科大学非
常勤講師(08～09年)・東京大
学助教。



今回の座談会の会場であり、
猪熊夫妻(奥様は建築家の苅
部寛子氏=左端)のお住まいで
ある「世田谷フラット」は、バブル
期に建てられた築25年のファミ
リリー向けマンションを今年リ
ノベーションしたもの。キッチン
や玄関には、木がふんだんに使
用されており、合板のキッチンカ
ウンターや建具は木口をあえて
見せる仕様に。「構造用合板の
荒々しい表情を活かしながら表
面をサンダー処理して手触り良
く仕上げています」と苅部氏。



西出 直樹
住友林業株式会社
木化推進室

杉本 貴一
住友林業株式会社
木化推進室
チームマネージャー

猪熊 純
成瀬・猪熊
建築設計事務所

成瀬 友梨
成瀬・猪熊
建築設計事務所

若手職人×デザイン力

— 成瀬さんと猪熊さんは、住友林業とのコラボレーションで、木の皿「one for all」(※1)を発表しましたが、「コラボのきっかけは？」

成瀬 今年7月に開かれた「HOUSE VISION」(※2)という研究会を通じて、杉本さんと西出さんにお会いしたのが始まりです。「one for all」のアイデアを伝えたいところ、とても共感してくださって。ただ、実際に作るとなると、想像以上の難しさがありました。

— どんな点に苦労しましたか？

成瀬 削って作ることでできる加工屋さんであればいくつも見つかったんです。でも、この作品は、削るよりも曲げて作るというイメージがあったので、曲げられる加工屋さんを探したのですが、「こんな大物、曲げられない」といった返事がほとんどでしたね。

猪熊 そんなときに杉本さんと西出さんが、頼もしいパートナーを見つけなくてくれたんです。

西出 和歌山のある建具屋さんなのですが、「新しいことに挑戦したい」という気持ちの強い方だったので、お願いしてみると「がんばってみよう」と言ってくれました。

猪熊 加工の手間はかかろうとも、最初から木で作ろうと考えていましたので、CGも最初から木で描きました。複雑な形をしています。プラスチックで作れば、なんてことのない皿だったかもしれません。

成瀬 「one for all」は、例えばパティのように、みんなが楽しむときの皿ですので、無機質な素材よりも、温もりのある木で作りたいかったです。

— 実際に形になってみていかがですか？

猪熊 想像以上にきれいな仕上がりで大満足です。普段であれば、十中八九は「ここがもうちょっとこうならないかな」となりますが、この作品に関しては、仕上がりを見たとき「そうそう、これこれ」でしたから。

成瀬 どちらかというと、私たちがより杉本さん、西出さんのほうがダメ出しは多かったかも(笑)。

※2/HOUSE VISION

「新しい常識で都市に住む」を理念に「日本人の住まいのかたち」を探索する組織。企業や団体で構成され、毎月の研究会国内外のシンポジウムや展覧会を企画している。



※1/one for all
一つの皿にさまざまな料理を盛りつけられるユニークな皿。東京ミッドタウンで今秋開催されたDESIGN TIDE TOKYO2011で参考商品として出展した作品。写真は参考商品。



次代へつなごうこの国の「木文化」

をコンセプトに、これからの「木文化」を再定義していく活動です。「One for all」はその第1弾の作品ですね。

成瀬 緑化が一般的に浸透したように木化の取り組みによって木の良さを多くの方に知ってもらいたいですね。

西出 僕自身、まだ勉強中の部分もあるのですが、これまで木を使って大きな建物を手がけたり、もともと木が好きで住友林業に入ったものから、木の良さを広くアピールしていく絶好の機会と思っています。

——成瀬さんと猪熊さんは、「イエタグ」(※4)や成形合板のイスなど木を使ったさまざまな作品を発表していますね。

成瀬 「イエタグ」は「マテリアル(材料)をどう考えるべきか?」といったテーマの展示会に出した作品で、木造建築の廃材でできています。モノができ、使われ、ゴミになるまでのフローを考えてデザインしました。極端な言い方もしれませんが、家は何も考えずに壊してしまえばゴミになってしまいます。しかし、木材は様々な可能性を持ったマテリアルでもあるので、それを使って何かできないかという発想ですね。

猪熊 廃材が紙になったことよりも一連のフローがあることをたくさんの方に知ってほしかった。それで身近なプロダクトに作り変えたんです。

西出 だから家の形をしているんですね。

杉本 展示会のテーマに木を選んだのはどうしてなんですか?

猪熊 鉄や樹脂も検討したんですけど、それでも木を選んだのは、やっぱり「木ならではの良さ」を感じてというか。

——例えばどんな良さですか?

猪熊 いろいろな「表情」を持って

いる点でしょうか。鉄やガラスでやさしさを出すのはなかなか難しいと思いますが、木は、ならではの温もりや質感がありますし、その一方でシャープに使うこともできる。そうした幅の広さがあるから、次はどんなふうに使ってみようかと考える楽しさがあります。ただ、曲げにくいから、手こずることも度々あります。すると俄然、挑戦心に火が着いてしまつのですが(笑)。

杉本 制約の多い素材であるのは確かです。建築構造ではスパンを飛ばせなかったり。その点、コンクリートなどは制約が少ないですね。

成瀬 以前「ひとへの森」(※5)をデザインした当初、森の木々を模したオブジェの素材は、白いスチールで計画していたのですが、鉄だとやはり寒々しかったのと、洋服や洗剤といったモノを並べていくと、どうしても存在が浮いてしまつて。そこで木に変えたところ、節や木目がかえって全体と調和し、木の新しい一面を見た気がしました。木には周りを溶け込ませる力、「なんでもこい」みたいなおらかなさがあります。すね。使う側のキャパシティを広げてくれるような。

西出 家でスキのテーブルを使っていますが、子どもがフォークで付けた傷だの宿題をしたときの鉛筆のくぼみだの、デコボコしていたものから、カンナをかけたんです。すると、まっさらになりました。ね。いつか、ペグリア、できるのも他の素材にはない魅力ですね。

猪熊 繊維の方向なんかよく見るとおもしろいです。生きものというか、生ものと向き合っている感じすらします。そうした魅力的な素材にもかわからず、モダン建築で

は、20世紀は鉄とガラス、そしてコンクリートの時代とされ、木が入ってないんです。いちばん身近でどこにでもあって、プロだけではなく日曜大工のお父さんも使える素材なのに、入っていない。「21世紀は木の時代」という気持ちは少なからずあります。

感情と愛着が生まれる素材

——木はありふれた素材でありながら、まだまだ普及の余地はあるようです。もっと木を浸透させるには、どうしたらいいと思いますか?

成瀬 木はメンテナンスしてこそ、その良さを実感できます。だから、メンテナンスの仕方の教科書みたいなのがあってほしい。いんじやないかって思ってますよ。

猪熊 「One for all」を展示会に出したときも、「このお皿ってどんなふうに入れますか?」って聞かれました。いろいろな方に聞かれました。

成瀬 かつての大量生産の時代は、使ったら捨てるの繰り返しでした。が、人々のメンタリティが変わりつつある現在は、手入れして使いたいと考える人も大勢いるはず。けどどうしたらいいかわからないし、学校では教えてもらえませんか。

杉本 たしかに木はメンテナンスの手間はかかりますが、手入れをすれば価値を失わないだけでなく、磨けば磨くほど愛着がわいてくるし、磨き続ける楽しさもある。そうした愛着を手放したくないという感情も木の価値です。その点、子ども頃から身近にある、例えばグ



ローブや靴といった革製品は、愛着を感じやすいですね。

西出 教科書的なものに加えて、実例を見せていくことが大事ですね。その意味でも「One for all」はとてもわかりやすい実例かも。そんなふうな身の回りのものを木に変えていって、木の良さを実感してもらい、長く使うにはどうしたらいいのかな、と考えたときに、お手入れの教科書がある。そんなスバイラルを回していきたいと思います。

猪熊 木の良さのひとつに、日曜大



工のように素人でもある程度は加工できる点があります。先日も木製のテーブルの脚がちょっと長かったものだから、妻と切ったんです。ウチは靴箱も木なので、中の仕切り方を変えようと思ったら、好きにできる。木にはそういう楽しみ方もあります。木にはそういう楽しみ方もあります。木にはそういう楽しみ方もあります。木にはそういう楽しみ方もあります。

杉本 そこはわれわれハウスメーカーが反省すべき点ですね。けっしてご自分ではいじらないでください。保証いたしかねますから」といってきたわけですから。お客様に木の良さを実感していただくには、お客様とのコミュニケーションのあり方も根本的に見直す必要があると思います。

適材適所を見極める目

猪熊 最近、木のニーズが一段と高まっていると感じています。というのも、例えば外壁を木で作ってほしいといったオーダーが増えてきているんです。「3年に1度は保護する塗料を塗る必要がありますよ」と、手間をかける必要があることを説明しますが、「もちろん構いません」とおっしゃいます。

西出 そうしたお客様に共通する部分はありますか?

猪熊 しいていえば「本物志向」でしょうか。例えば食器一つにしても「この皿はドイツのどこどこで作られたもので…」と、豊富な知識とこ

だわりをお持ちで、モノの背後にある物語を大切になさっている方が多いですね。木も誕生から製品になるまで、長い物語を有する素材です。その点も強みではないかと。

成瀬 私は、建築のデザインにしてもインテリアの設計でも、木をこ

※3/MOCCA
住友林業が木から生まれる未来「木化」をコンセプトに、これからの「木文化」を再定義していく活動。森と人が共生しながら育んできた「木文化」を軸に、グローバルな視点で優れた技術デザインを融合させた木造化「木質化」の商品、およびサービスを提供しています。

※4/イエタグ
木造建築廃材から作られた紙を利用した付せん。木造建築が紙さらには商品に変わるフローを提案。2010年春の「地球マテリアル会議」展示作品。



※5/ひとへの森
木を点在させ、無数の小さな居場所を作り出した作品。日本のワンドームの狭さを活かした提案。2009年「INTERNATIONAL ARCHITECTURE AWARDS DESIGN FOR ASIA AWARDS 2009 Merit Recognition」



さら意識しているわけではないんです。プランの後に、素材をどうしようかと考えるタイプなので。ただ最近では、実際にモノをつくる段階において、いかに素材が大事かということが「One for All」の経験などを機にわかってきました。ですから今は、例えば木ありきで考えてみたり、素材からの発想でなにかを作ってみてほしいですね。

猪熊 木は生き物ですから、すべて均質ではないがゆえ、扱いにくさがありました。でも、解析技術の進歩により、解明が進んだ現在、木にしかできないこともあるのではないかと思っているんです。ただし、僕は素材選びはゼロベースで、いろいろな素材を選択肢に入れて考えるようにしています。プラスチックに合った形が思いつけば、プラスチックを選びます。

杉本 木化推進室の私がいうのも何ですが、成瀬さんや猪熊さんの「必要なところに、必要な素材を使う」という姿勢には、大いに共感します。なんでも木ではなくて、木が必要なところ、木ではないほうがいいところを見極める目が大事ですよ。

被災地に やすらぎの「場」を

——今年には東日本大震災が起きました。復興支援策として、皆さんが取り組んでいる「陸前高田 まちのリビングプロジェクト」(※6)について教えてください。

成瀬 市内11地区のうち8地区が津波で被害を受けた岩手県・陸前高田市に建設された応急仮設住宅・店舗のエリアに、人々が集えるコミュニティを設けようというプロジェクトです。その中で今回私たちは、近隣住民の皆さんが食事をしながら語り合ったり、お茶を飲んだり、気軽にコミュニケーションをとって



※6 / 「陸前高田 まちのリビングプロジェクト」仮設カフェ(建設中)

- 構造: 木造軸組工法による平屋建て
- 延床面積: 34.78㎡(10.52坪)
- 着工: 2011年12月9日

今回の計画は、1年後に予定している本設工事に先立ち、東北産材を活用しながら多目的に使用可能な木造仮設店舗の建設となる。仮設カフェのオープンは2012年1月9日予定。



いただけるようなカフェを木造で建てようという取り組みを住友林業さんと一緒に進めています。**猪熊** 被災地の仮設建築の多くは、規格化された新建材や鉄骨でできているものも多いですが、今回私たちは木を用いて、温もりのあるやさしい空間にしたいと考えました。**成瀬** 木造にした理由は、コストを抑えたかったことありますが、地

座談会

次代へ つなごう この国の 木文化

元の大工さんにお任せでき、竣工後も地元の方々が、ご自身でカスタマイズできるという利点があったからです。

猪熊 被災地はすでに厳しい冬を迎えていますので、地元の工務店さんのご協力のもと、まずは10坪ほどの仮設リビングを建て、地域の皆さんの意見をお聞きした上で、来年秋の本設リビングの建設を目指しています。

西出 仮設ですから、のちのちのバラしやすさとか調達の仕方などを考えながら建てているわけですが、それでも、そうしたテーマもあり、制約があると、ますますモチベーションが上がりますね。

杉本 材は東北のヒノキの集成材を使用しています。地元では大工や職人さんが不足していますので、いかに人材を確保するかといった課題はありますが、被災地の皆さんが、ほんのひとときでもホッとくつろげる空間にできるよう、手を携えてプロジェクトを進めていきたいと思っています。

—— それでは最後に、2012年の抱負をお願いします。

成瀬 仮設に続く本設カフェを完成させ、被災地の皆さんが気軽に集まれる場所を取り戻したいですね。現地メンバーの皆さんは、家や職場を失っているにもかかわらず、被災した仲間のために、このプロジェクトに協力してくださっています。そんな皆さんの姿を見ると、胸が熱くなり、何とんでもやり遂げるぞと、勇気がわいてきます。このプロジェクトは、ものづくりを通じた社

会への新たな提案ともいえません。今後も既存のものではない、新たな提案を社会に問いかけていきたいです。

猪熊 奇抜さはなくても、社会に一石を投じる、あるいは新しい枠組みとなるようなものづくりを今年も続けていきたいですね。その意味でも被災地の木造カフェは、被災者の皆さん、そして僕たちの未来にもつながるプロジェクトですので、本設の秋に向け、走り続けていきたいですね。

西出 住友林業は木の会社です。木ありきで発想しがちですが、何が何でも木がいいとは限りません。言い換えれば、どこにどんなふうにも木を使っていくかを考えることが大事で、その意味でもこれからの木文化を考える「MOCOA」の活動に意欲的に取り組んでいきたいです。

杉本 「その「割れる」「汚れる」「火や水に弱い」。木はけっして万能ではなくて、探せばいくつも弱点があるんです。でも、手入れすれば、長持ちするし、そうやって古くから日本人は、木とともに生きてきました。ストックビジネスが拡大しつつある中、既存の家を手入れし、みんな長く使っていくという考え方は、木を手入れしていきましようよ、という考え方が重なる気がします。そんなふうにも木を大事しながら、木の温もりを感じられるのは幸せなことだと思っんです。そうやって受け継がれてきた木文化を、次代に伝えていきたいと思っています。



震災後のユーザー動向 —注文住宅に関するトレンド調査2011—

【耐震性】重視に大きく傾く

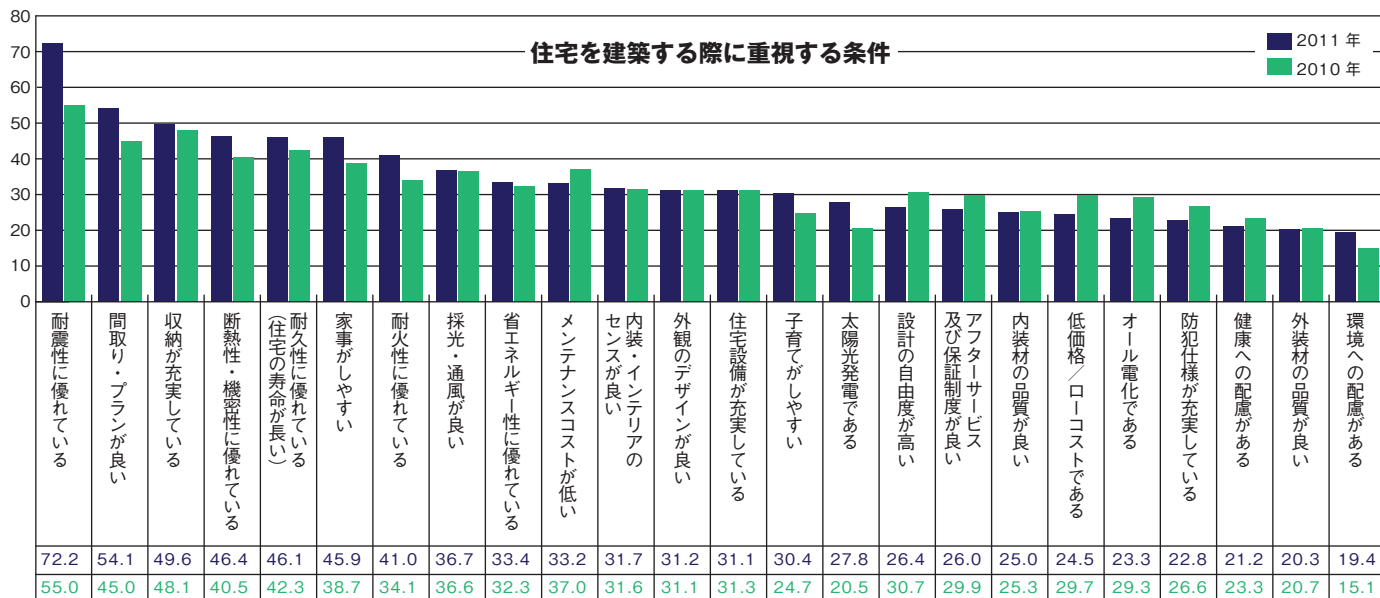
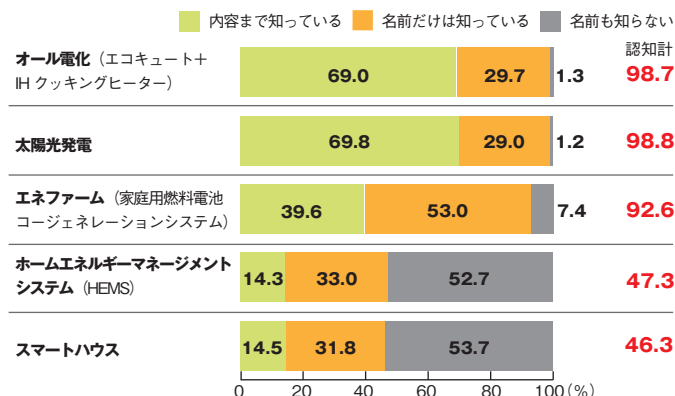
毎年リクルートが実施する、現在注文建築を検討しているエンドユーザーの意向調査(9月実施)。今年は震災による変化などをここで紹介したいと思います。

調査対象者のプロフィールでは、居住エリアの宮城県シェアが昨年1.1→今年1.8%に増加(母数が少ないものの6割強増)。長野1.3→1.9%、静岡2.4→3.3%、愛知7.8→9.5%、広島1.1→2.0%、九州・沖縄全体も6.5→8.0%と増加したエリア。「建築したいと考えたきっかけ」の問いに対して、「災害に備えて」は1.9→5.4%(22項目中16位)と優先順位が高い訳ではありませんが、自然災害から命を守るための住まいを考え動いている層が確実に増加したことが見られます。

それが大きく現れたのは「住宅を建築する際に重視する条件」。グラフの昨年比で分かるように「耐震性に優れている」が突出。意外だったのは「省エネルギー性」がそれほど上がっていないこと。年々増加傾向だった「オール電化」が減って「太陽光発電」が増えるのは想定されましたが、省エネ性に変化がなかったのは、住宅ハードと省エネの関係がエンドユーザーにはまだ直結していない事が理由だと思われる。家電や住まい方で節電・省エネ意識が高まっている中、住宅本体の性能アップが大きな節電・省エネにつながると理解できれば強い動機になると思われます。暖房費がかさむ冬こそ正しく「新築・リフォーム＝省エネ＝社会貢献」くらいのアピールをしたいものです。

どうなる【オール電化】?【スマートハウス】?

今回新たにエネルギーシステムについて項目を加え、その認知度や導入意向を調査しています。100%近い認知率の「オール電化」「太陽光発電」に対し、「エネファーム」はまだ名前だけ認知の方が高い状態。別途、検討意向を聞いた結果「オール電化」は「検討中/予定」47.5%、「決めた」15.8%、「やめた」17.4%と全体の80.7%がとりあえずは検討するシステムになっています。前述グラフの重視度では落ちましたが「決めた」率も多く、「やめた」率との差が他のシステムと比べて最も少なく決定率が高い、依然ニーズのあるシステムといえるでしょう。一方、「スマートハウス」[HEMS]についてはまだ認知度も低いのですが、その認知者を調査すると60%程度が検討意向と、これは「エネファーム」に並ぶレベルです。今後、スマートハウスも暮らしに役立つ!ワクワクする!を提案できるようなものになれば、スマホの勢いにあやかった「スマバ」人気も来るかもしれません。



調査概要：株式会社リクルート「注文住宅に関するトレンド調査2011」9月22～30日実施、インターネット調査(今後2年以内に戸建建築を予定している男女、全国1000サンプル)



- 本社：京都市南区西九条森本町86
- 事業内容：鶏卵の自動洗浄選別包装装置、非破壊検査装置の開発と製造、販売、メンテナンス
- 従業員数：120名
- http://www.nabel.co.jp

株式会社ナベル

技術を守るため、特許を武器に戦う

予期せぬ事態を機に 知った攻めの経営

「特許は飾りではありません。企業の経営の中枢に関わるものなのです」。そう語るのはナベルの南部邦男社長。同社は、鶏卵の洗浄、選別、包装を全自動で行う自動選別包装システムを製造している。国内で約8割、世界でも約2割のシェア。日本のスーパーマーケットに並ぶパック詰め卵のほとんどが同社のシステムで処理されて

鶏卵の自動選別包装システムを製造している工場。同社が誇る世界トップクラスの技術を、特許戦略で保護している

いることになる。2009年に開発した最新機種「CANOPUS12000」は、1時間に12万個の卵のパック詰めが可能。世界最速レベルの処理スピードだ。

自動選別包装システムに組み込まれている機器も、同社独自の発想によるものが多い。例えば、「自動ひび卵検査装置」は、コンベヤー上で卵を特殊なハンマーで16回叩き、その振動音でひびが入っているかどうか調べる。これは、ベテランの卵検査担当が指で卵を軽くたたいてひびを見つけている様子から着想を得た。

かつては大手家電メーカーなどの製造ラインの受託をしていた同社が、自動選別包装システムの開発を開始したのは1975年のこと。当時、日本には海外メーカーの輸入品しかなかった。丸4年をかけた、1979年に初の国産品となる「AX-80」が完成。輸入品と比べて格段に安く、すぐに高い評価を得た。翌年には下請けをやめ、専業メーカーの道を歩き出した。

しかし、1986年、予期せぬ出来事が同社を襲う。アメリカのメーカーから、システムの一部が特許を侵害していると提訴された。先行特許調査は行っていたが、10人前後のスタッフでは全てを把

握できていなかったのだ。賠償請求額は当時の年商に匹敵する6億円。「もう、終わりや」。届いた訴状を見た南部社長はただ呆然と立ち尽くした。

結果的に、優秀な弁理士のサポートもあり、3年の訴訟の末、4000万円の和解金を払うことで決着がついた。南部社長は、特許の重要性を改めて実感。企業の責任として他社の権利を侵害しないこと、そして自社の権利を守っていくことを誓った。

「企業の技術を守る特許は、最も大事なものの。技術に危機が迫った時に武器になるのも特許だけ」。

やるからには裁判も辞さない

そもそも日本の企業は、特許を武器に戦うという意識が高いとは言えない。近年、アメリカで年間約3000件もの特許裁判が行われているのに対して、日本では100〜200件。「日本には、「水に流す」という文化がある。でも、海外は、日本ほど水の流ればよくない（笑）」。

代表取締役 南部 邦男 さん



- 1 2 同社独自の技術、自動ひび卵検査装置。綿棒のような特殊なハンマーで卵を16回叩き、振動音によって卵にひびが入っていないかどうか調べる
- 3 創業当時の会社の外観
- 4 エントランスホールにある二宮金次郎像。「勤勉こそが技術力の源となる」という南部社長の考えを表している
- 5 「フィンガー」と呼ばれる機械部品で、卵が割れないように優しく包む
- 6 産業財産権制度発展への貢献で経済産業省より表彰を受けた
- 7 超音波振動を応用して卵パックのふたを着着する超音波シール機「SUPER SEALER 2500」。1975年に日本で初めて開発し、後に国内75%のシェアを獲得

からでしょうね」。

経営の柱として、とんとん特許を利用

特許を経営の柱にすることは、様々な形で活用するということ。当然、社員の発明へのモチベーションを高めることも含まれる。現在、同社は国内外で406件の特許を出願し、97件を登録している。ライセンス料（ライセンス料を得ていないものは、想定した額の10%を社員に還元。そのうちの20%を発明者、残りを全社員に分配する。そうやって培われた社員の発明意欲が、新製品を次々と生み出す原動力となっている。

また、特許庁のホームページで公開されているデータベース。これを見れば、各産業界でどういった技術が求められているのかが分かる。ここからヒントを得て、新しい技術開発につなげる。現在も、来春の完成を目指して、新しい製品開発を進めているところだ。

「出願を外部の弁理士に任せている会社もありますが、一度、自分で出願書類を作成してみてもいい。言葉一つ一つに意味があり、それが経営そのものを表している。私も、書類作成が趣味と言ってもいいぐらい膨大に作成してきた。大きな資本や従業員を持たない会社でも、特許を利用することで、世界と戦える。それを示してきたのがナベル。今後、日本の企業がグローバル規模で競争を勝ち抜くための戦略として、特許がさらに重要となりそうだ」。



東京23区内では業界初の実績 木造耐火構造3階建ての 有料老人ホームが完成

12月1日、東京23区内で初となる木造耐火構造3階建て有料老人ホームが完成し、オープンを迎えた。

この建設は、平成22年度の第1回「木のまち整備促進事業」※に採択されたプロジェクトで、事業者である有限会社円宿から当社が設計・施工を請け負ったもの。今後の運営は有料老人ホームを全国で展開する株式会社ベネッセスタイルケアにより行われる。

施設は、優れた防耐火性能を有する耐火構造で、入居者の安全を考慮。また、内・外装には環境に配慮した国産材を活用した部材を新たに開発し、木質感溢れる仕上げを実現した。

なお、設計・施工に関しては、今年4月に新設された当社の「木化推進室」が初めて携わった。木化推進室では、拡大が期待される非住宅分野での木造化と内装などの木質化を通して、国産材を軸とした新たな基準・規格づくりを推進。今後とも木材資源の新たな用途拡大を目指していく。

※国土交通省の補助事業。再生産可能な木材を大量に使用する大規模な木造建築物等の整備事例について、その内容を広く国民に示し、木造建築物等に関する技術の進展と普及啓発を図ることを目的とする。

施設の特徴

①木質感溢れる内・外装

見た目、肌触りも快適で心地よい木を随所に使用。木特有の温かみあふれる空間を実現。

②国産材を積極的に活用

低炭素社会の実現、木材自給率向上へのために、国産材活用を積極的に推進。新規部材、構法の開発で新たな活用の環境づくりに貢献。

③木のやすらぎと安心の設計力

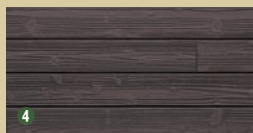
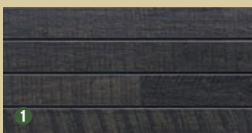
高齢の入居者に負荷が少なく過ごしやすい快適な生活動線と、「木」の提案により「わが家」のような安らぎを提供。



国産材をふんだんに活用したエントランスホールとダイニングルーム

Product close up!
製品紹介

豊富なカラーバリエーションで彩る5柄21品番 「モエンエクセラード16」を発売!



①キャストイングウッド (7,245円/枚 (5,255円/m²))

今までにない木目意匠。年輪を重ねた木のダイナミックな迫力が、自然の和みを感じさせる。(全5色)

②コシュカ (6,615円/枚 (4,799円/m²))

繊細で知的なキューブ柄。ピースごとの微妙なニュアンスが、表情豊かな外観を造り出す。(全4色)

③クレミナウォール調 (6,615円/枚 (4,799円/m²))

大地から削り出された鋭い割石を表現。素材感と表情を追求し、ワンランク上の風格を演出。(全5色)

④マイスターウッド調V (5,670円/枚 (4,113円/m²))

素朴で暖かみのあるデザイン、アンティークな風合いが温もりを感じる住まいへと誘う。(全4色)

⑤セリオスタイルV (5,670円/枚 (4,113円/m²))

シンプルで端正なデザインとやわらかい表情による多彩な変化で、やさしく外観を包む。(全3色)

お問い合わせ

ニチハ株式会社 お客様相談室

TEL: 052-220-5125 (受付時間 月～金 AM9:00～PM5:00)

編集後記

from editor



10月号から企画・編集に参加することになりました新人編集員です。「木材・建材業界に関わる全ての人々を元気に」するために、分かり易い情報提供をするべく全力投球していきます。自分が作成に関わるようになって初めて知りました

が、本誌は非常に自由度が高い!皆様とよりよい建材マンスリーを作り上げていきたいので、ご意見・ご要望、取り上げて欲しいテーマなど、どんなことでも気軽に連絡いただけると幸いです。(片岡)

編集室より
広告募集中!

広告掲載・製品紹介のご相談、誌面に対するご意見、ご感想は建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。

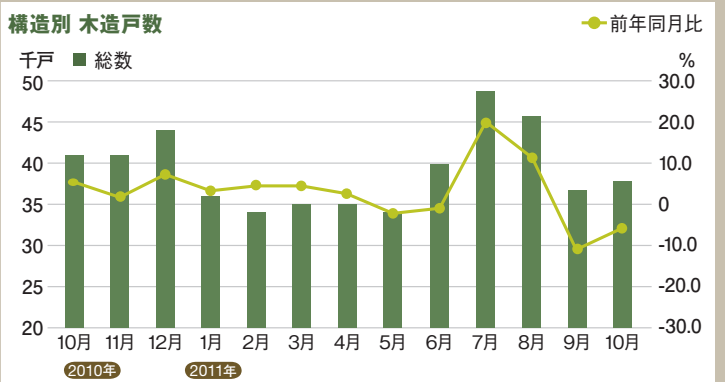
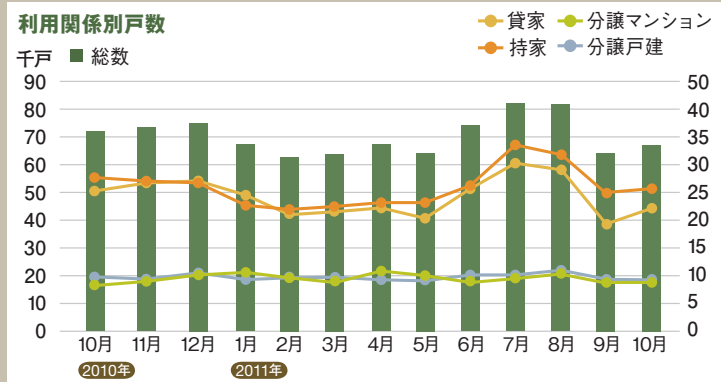


kenzai-monthly@sfc.co.jp

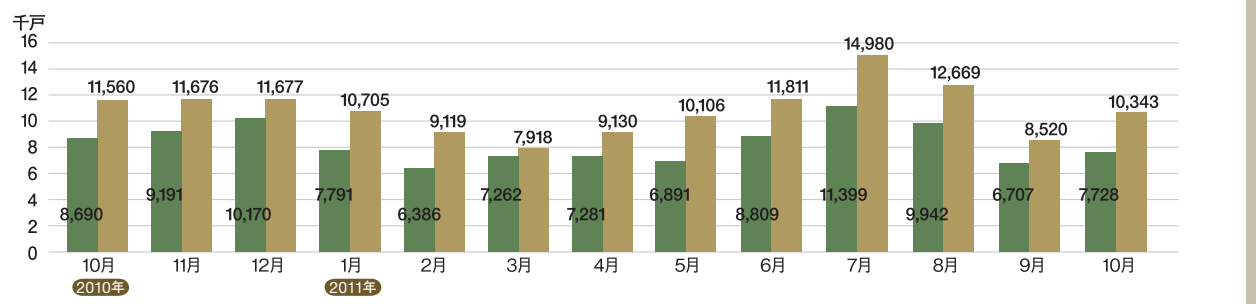
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部 (片岡・齋藤)

【2011年10月の新設住宅着工】 △は減

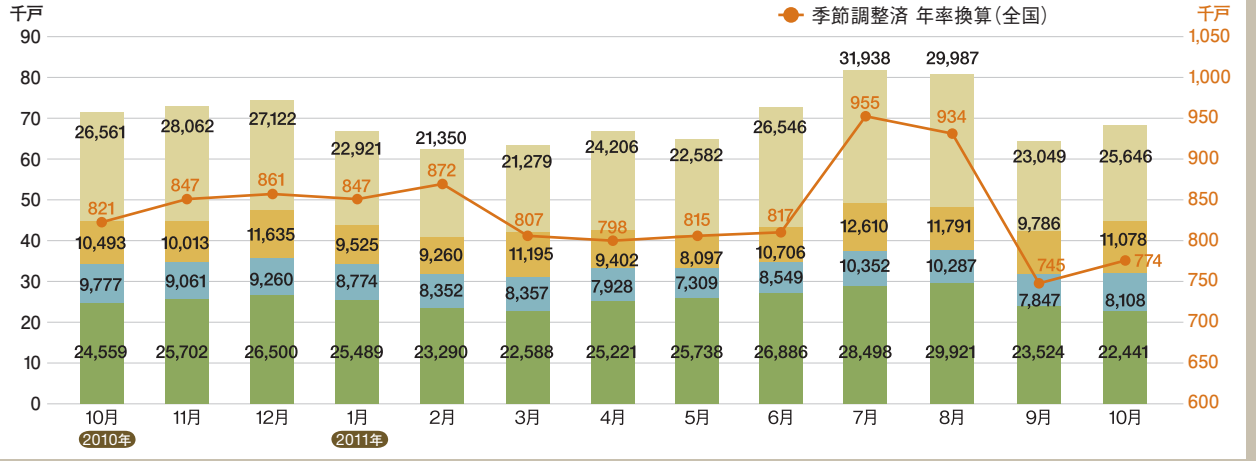
		10月					9月	8月	7月
		対前月比 (戸) (%)		対前年同月比 (戸) (%)					
新設住宅計		67,273	3,067	4.8	△4,117	△5.8	64,206	81,986	83,398
建築主別	公共	894	△438	△32.9	△382	△29.9	1,332	1,334	1,654
	民間	66,379	3,505	5.6	△3,735	△5.3	62,874	80,652	81,744
利用関係別	持家	25,581	603	2.4	△2,261	△8.1	24,978	31,039	32,382
	貸家	22,904	3,509	18.1	△2,236	△8.9	19,395	28,372	30,464
	給与住宅	342	△967	△73.9	△172	△33.5	1,309	812	308
	分譲住宅	18,446	△78	△0.4	552	3.1	18,524	21,763	20,244
	うちマンション	8,775	△284	△3.1	614	7.5	9,059	10,694	9,785
	うち戸建	9,530	134	1.4	△119	△1.2	9,396	10,990	10,375
資金別	民間資金	57,827	3,605	6.6	△2,854	△4.7	54,222	69,431	71,293
	公的資金	9,446	△538	△5.4	△1,263	△11.8	9,984	12,555	12,105
	公営住宅	794	195	32.6	△353	△30.8	599	914	1,477
	住宅金融機構融資住宅	4,833	△407	△7.8	△1,034	△17.6	5,240	6,175	6,560
	都市再生機構建設住宅 その他住宅	12 3,807	12 △338	- △8.2	12 112	- 3.0	0 4,145	0 5,466	6 4,062
構造別	木造	38,075	1,394	3.8	△2,916	△7.1	36,681	46,901	48,160
	非木造	29,198	1,673	6.1	△1,201	△4.0	27,525	35,085	35,238
	鉄骨鉄筋コンクリート造	329	179	119.3	67	25.6	150	367	164
	鉄筋コンクリート造	16,928	△945	△5.3	74	0.4	17,873	20,920	19,222
	鉄骨造	11,845	2,454	26.1	△1,341	△10.2	9,391	13,691	15,759
	コンクリートブロック造 その他	60 36	1 △16	1.7 △30.8	17 △18	39.5 △33.3	59 52	51 56	49 44



**2×4、プレハブ
新設住宅戸数**



**都市圏別
新設住宅着工数**



住友林業の有料老人ホーム

グランフォレスト 目白



西武池袋線椎名町駅より徒歩4分

グランフォレスト 神戸六甲



JR神戸線六甲道駅より徒歩8分

入居一時金0円プラン

目白

月額利用料 403,250円

内訳…管理費 84,000円/光熱水費 21,000円
食費 68,250円/家賃相当額 230,000円

※介護保険1割負担分、個人医療費、オムツ代、新聞代、理美容代、居室内設置の電話代、その他雑費などは別途実費負担となります。

※別途保証金100万円。保証金は原則、全額返還金として返還されます。

入居金プラン 《プラン例》入居時のご年齢80歳
の場合 入居一時金990万円/月額利用料238,250円

■事業主体/株式会社フィルケア ■所在地/東京都豊島区南長崎2丁目19-7
■土地・建物の権利形態/建物賃貸借契約(30年・自動更新) ■敷地面積/876.23㎡ ■延床面積/1,425.47㎡ ■構造/鉄筋コンクリート造地上3階 ■居室数/30室 ■居室面積/18.41㎡
[東京都有料老人ホーム設置運営指針]に基づく類型及び表示事項
■類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ■居住の権利形態/利用権方式 ■利用料金の支払い方式/選択方式 ■入居時の要件/原則として65歳以上の方、入居時要介護 ■介護保険/東京都指定介護保険特定施設(一般型特定施設) ■専用居室区分/全室個室 ■一般型特定施設である有料老人ホームの介護に係る職員体制/2.5:1以上

神戸六甲

月額利用料 381,750円

内訳…管理費 57,750円/光熱水費 21,000円
食費 63,000円/家賃相当額 240,000円

※介護保険1割負担分、個人医療費、オムツ代、新聞代、理美容代、居室内設置の電話代、その他雑費などは別途実費負担となります。

※別途保証金100万円。保証金は原則、全額返還金として返還されます。

入居金プラン 《プラン例》入居時のご年齢80歳(居室A・Bタイプの場合)
の場合 入居一時金990万円/月額利用料216,750円

■事業主体/株式会社フィルケア ■所在地/兵庫県神戸市灘区中郷町3-3-7 ■土地建物の権利形態/建物賃貸借契約(30年・自動更新) ■敷地面積/1,358.83㎡ ■延床面積/3,801.86㎡ ■鉄筋コンクリート造地上6階 ■居室数/59室(一般居室19室 ※全室2人入居可、介護居室40室) ■居室面積/20.02~56.54㎡
[神戸市有料老人ホーム設置運営指針]に基づく類型及び表示事項
■類型/介護付有料老人ホーム ■居住の権利形態/利用権方式 ■利用料金の支払い方式/選択方式 ■入居時の要件/原則として65歳以上の方、入居時自立・要支援・要介護 ■介護保険/兵庫県指定介護保険特定施設(一般型特定施設) ■専用居室区分/全室個室 ■一般型特定施設である有料老人ホームの介護に係る職員体制/2.5:1以上

短期の入居を検討されている方へ

ショート入居プラン

ご利用料金 15,750円
(1泊2日あたり)

1泊2日より**最長1か月間**(30泊31日)までご入居いただけるシステムです。

◎本プランは介護保険の適用外です。サービス利用は全額自己負担となります。料金の内容は、管理費、光熱水費、食費、介護サービス費です。個人の消耗品費、医療費などは含まれておりません。

※お身体の状態や空室状況、入居審査によりご利用いただけない場合もございます。日程には余裕をもってお申込みください。

ご利用例

- ・病院を退院される方で一時的に介護士・看護師のお手伝いが必要な方。
- ・自宅新築・改修のため、一時的に親を入居させたい方。
- ・特養・老健の入居待機中の方。
- ・自宅での生活が難しくなった方。

sumirin

住友林業グループ

株式会社フィルケア

〒226-0011 神奈川県横浜市緑区中山町219 ル・チャードビル5階
TEL:(045)937-1205 FAX:(045)929-3779 Email:fc_soudan@sfc.co.jp

お電話でのお問い合わせは
フリーダイヤルへ

0120-644-810

<http://www.fillcare.co.jp>

※介護事業者ガイドブックハートページ(豊島区介護保険課監修・株式会社プロトメディカルケア発行)より引用掲載